

サステナブル活動部門

下水道施設の運営にかかるアセットマネジメント手法の導入について

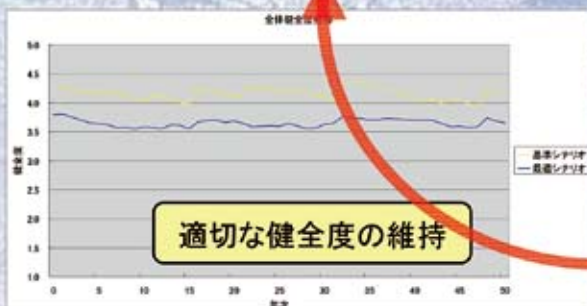
静岡市、日本下水道事業団

戦略的管理により、低コストで機能維持を実現

施設の整備・再構築



定期的な点検・健全度の把握



トータルコストの最適化
事業実施時期の最適化

健全度データ等
の蓄積

健全度の予測

シナリオの検討

LCCの検討

AM手法を用いたシミュレーション

下水道は市民生活に不可欠なインフラ施設のひとつであり、下水道整備の進捗に伴い増加し続ける施設の機能を健全に保つとともに、限りある財源を効率的に運用しながら施設管理を行っていくことが求められています。静岡市と日本下水道事業団では、下水道事業の特徴を踏まえたアセットマネジメント手法の導入・運営手法を共同研究により確立しました。この手法を本格的に導入することで、ライフサイクルコスト（LCC）の低減、戦略的管理によるサービス水準の維持、投資の平準化、アカウンタビリティの向上などの効果が期待されます。